＜地域学習・教育論（出題意図・解答例）＞

設問１　以下の語句の中から、４つを選んで簡潔に説明しなさい。(5 点×4＝20 点)

① 学習課題
② 集団学習
③ 実践コミュニティ
④ 生涯スポーツ
⑤ ウェルビーイング
⑥ 省察
⑦ 対話
⑧ 社会教育士

■出題意図

地域学習・教育論の基礎的な用語の意味内容を問い、用語に対する理解力を確認することを意図している。

■解答例

①学習課題

学習課題とは、学習者が何を学ぶべきかを課題群として整理したもの、あるいは学習者が取り組むべき学習の方向を示すものである。学習課題には次のような捉え方がある。ひとつは「要求課題」と「必要課題」に分ける捉え方である。前者は学習者が興味・関心をもっており、学習者が積極的に学びたいと思っている課題のことを指す。後者は学習者が自発的に学びたいと思っていないが、社会的に学ぶ必要性のある課題のことを指す。他にも、生活の中で解決が求められている「生活課題」やライフサイクルの各時期に達成や獲得が期待されている「発達課題」という捉え方もある。

②集団学習

集団学習とは、参加者の集合が組織的であり、それ自体が教育的意義のある集団的性格をもち、集会学習と区別される集合学習のひとつの形態である。学級・講座、サークル、グループワークなど、参加者の間の相互作用による学習が期待される形態である。

③実践コミュニティ

実践コミュニティは、ジーン・レイヴとエティエンヌ・ウェンガーが提唱した概念である。彼らによると、実践コミュニティとは、「あるテーマに関する関心や問題、熱意などを共有し、その分野の知識や技能を、持続的な相互交流を通じて深めていく人々の集団」である。

④生涯スポーツ

生涯スポーツとは、幼児期から高齢期まで生涯にわたって、誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでもスポーツを享受することができるとする理念である。人々がスポーツを学ぶこと、あるいは自ら進んで実践することができるような多様な学習機会および環境の整備を意味している。

⑤ウェルビーイング

ウェルビーイングとは、良好な状態のことを意味する。世界保健機関（WHO）は、「世界保健機関（WHO）憲章」における健康の定義をふまえて、ウェルビーイングを「(身体的，精神的，社会的に）良好な状態」を指す言葉として用いた。一方で経済開発協力機構（OECD）は、ウェルビーイングを個人レベルだけではなく社会レベルの「良好な状態」を指す理念とともに、社会全体の幸福度合いを測る指標として用いている。

⑥省察

省察とは、ふり返り、反省、内省のことである。省察の定義や理論は複数あるが、例えばドナルド・A・ショーンは、省察には実践者個人が実践の最中に周囲の状況をふまえて実践の修正を行う「行為の中の省察」と、実践後に将来にむけての改善のために行う「行為についての省察」があることを示している。

⑦対話

対話とは、人々が権力・利害関係にとらわれない対等な関係性を求めて交流し、それぞれが変容しながら、異なる価値観や論理等を擦り合わせて新しいものを生み出すプロセスである。対立や葛藤を乗り越え、合意形成を重ねてともに社会を創造していくために、対話は必要不可欠である。

⑧社会教育士

社会教育士とは、社会教育主事養成課程において必要な単位を修得した者、または社会教育主事講習を修了した者が称することのできる称号である。学びのコーディネーター・ファシリテーター・オーガナイザーとして、社会教育施設や行政、学校、NPO、企業等における社会教育の振興に中核的な役割を担うことが期待されている。

設問２　地域の価値の再発見を目的とした学習プログラムを企画する際の視点や具体的な工夫について説明しなさい。（30 点）

■出題意図

地域における学習活動に関する具体的な事例や実践経験などをふまえて、学習プログラムの企画立案に必要な知識や思考力、表現力を確認することを意図している。

■解答例：省略